

「新型コロナウイルス感染症流行下における小児外科手術中止状況に関する後ろ向き観察研究」

【ご協力のお願い】

新型コロナウイルス感染症流行下における小児外科手術の中止状況について流行以前と比較検討し分析します。これにより将来的に新たな感染症パンデミックが起きた際の小児外科手術に対する術前感染症予防対策について研究します。

【実施施設および担当医師】

京都第一赤十字病院 小児外科 坂井 宏平(責任研究医師)
京都第一赤十字病院 小児外科 出口 英一(分担研究医師)
京都第一赤十字病院 小児外科 魚住 祐介(分担研究医師)

【研究の方法】

2017年1月1日から2022年12月31日までに小児外科手術を施行された830例の方を対象に、手術中止状況について検討します。抽出する内容は、以下の通りです。

- ① 関連情報: 診断, 術式, 手術中止理由, 待機期間等
データベースから(2017年1月1日から2022年12月31日)
- ② 患者基本情報: 性別, 年齢,

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院小児外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

【患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得】

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。また、同意いただけない場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

【事務局・患者問い合わせ窓口】

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地

京都第一赤十字病院 小児外科

電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308

責任研究医師氏名 坂井 宏平(kohei-sakai@kyoto1.jrc.or.jp)